

また、食事のことがあります。タバコは吸いません。お酒の量も随分減ったと自負していました。野菜も欠かさず食べ、外食をすることはあってもバランスの良い食事を心がけているつもりでした。

しかし、お医者さんから、こういう食べ物は動脈硬化を起こしますよ、と説明を受け、改めて自分の食習慣を振り返った時、心臓の血管が細くなっても何ら不思議ではないと思いました。食品のことについてどれだけ無知であったか痛感させられました。このたびの試練は、食習慣を見直し、日々の生活スタイルを見直しなさいという警告でもありました。

『主の道をまっすぐ歩かせよ』
主イエスが公の活動を開始される前に、バプテスマのヨハネが人々に告げた言葉です。悔い改めて、主イエスを心の中にお迎えすることができるよう、心を整えなさいと言ったのです。
自分では思い上がった人間ではないと思っていました。実際は、自分が見えなかったところがありました。病気が

になつてはじめて、本当に、多くの方々に助けられ、支えられていることに気づかれました。まさかというような方から大変励まされる経験もさせていただいたことは何よりも喜びです。また、食事のことも、動脈硬化の原因となるものを日々口にしながら、「まだまだ大丈夫」と侮っていたところがありました。自分には知らないことがたくさんあることを肝に銘じて、謙虚に正しい知識を身につけ、命を大切にするために正しい食生活を心がけなければならぬと反省させられました。

試練がなければ、自らの心の中にある雑木雑草に気づけないものです。岩やさまざまな大小の石ころがあつても、順調に心が運んでいる時は、荒廃した自分の心を開墾し、主の道を整えることは忘れて、ついでいけいけとどんどんやっつけてしまうものであることに改めて気づかれました。病を得て、神さまにストップをかけていただき、ようやく悔い改めの時が与えられ、感謝しています。



一通のメール

小南須美子

あなたがたはどう思うか。ある人に百匹の羊があり、その中の一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、その迷い出ている羊を捜しに出かけないだろうか。(マタイ福音書18章12節)

私のスマホに一通のメールが入りました。弟からのメールでその内容は、私にとってびっくりする内容のものでした。弟の嫁(65才)が急性骨髄白血病という血液のガンで、化学療法を受ける為、入院するとのこと。この1ヶ月程会っては、いないけれど、今まで病気になることも無く、もちろん入院など・・・。すゝ弟に電話をしたら、このままで3月。5年後のことは、考えてもらうとは思われない。それを聞いた時、私は、彼女はまだ若いし、一人娘が天国に行ったら、残された彼女の母親や家族は、どんなに嘆き悲しむかと思った。傾合いを

島之内教会へ転会して

中村 巨

このほど、日本基督教団 松山教会より転会させて頂きました。実は私の受洗のきっかけは、たった一人の身内であった姉の葬儀を、この島之内教会で執り行って頂いたことです。

仕事の関係で松山市におりました

いつも祈り感謝して

梶谷 榮子

私は3歳になった頃、神戸市の神和教会の日曜学校に行きはじめました。一人で初めての所に行くのはとても不安な気持ちでした。その後のことは、あまり記憶に残っていませんが、毎週日曜日に出席していたと思います。大学生のとき、西宮市に引っ越してから、教会から何となく足が遠のいていました。

結婚して大阪市に住み、娘が神戸女学院中等部に入学し、先生から教会に通うように言われて、家から近い島之内教会を紹介されました。

オルガニストの土橋さんの奏楽に心を打たれ、礼拝のたびに心が洗われる思いでした。

小崎先生、崔先生の指導される聖書を学ぶ会に参加し、若い方達と一緒に楽しく学びました。一方、神戸女



島之内教会へ転会して

中村 幸子

今後も皆さまと仲良くさせて頂ければと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。



東(西区)へと帰ってまいりました。土橋薫先生が松山教会にパイプオ

た時、大阪の姉が他界し、急遽、妻が松山教会の上林牧師に相談し、ご紹介によって島之内教会で大門先生が司式して下さいになりました。音楽は1月の2日にも関わらず、土橋薫先生がお引き受け下さいました。無宗教の姉を、教会で厳肅な中にも温かい雰囲気の中で親しい友人が集まって見送ることが出来たことは本当に感謝の念に堪えません。礼拝の中で、姉のためにゴスペルを歌ってくれた歌手の東雲マリさんが、土橋先生の大学時代の同窓生であったことも、不思議な巡り合わせでした。

大門先生、上林先生とお褒めを頂き、何もわかりませんが洗礼を受け、妻と礼拝に出るようになりまし。そして、転会を勧めて下さった木戸先生に感謝いた

